

いろいのな 性を生きる展

ます。隣の人がそうであるかもしれないし、「私」がそうであるかもしれないけれど、まだまだ根強い偏見があるのが現状です。

性の多様なあり方について知ることで、私たちの性のありようがすでに多様で豊かであるのに、それを語る言葉やしきみを手にしていなかったことに気づかされます。一人ひとりがお互いの存在を認めあい、いろいろな性をいきいきと生きられる社会になることを願います。



●女性室ってなに? ●私たちを取り巻く性についてのあたりまえ
-誰もがあれ? と思っても口に出せない-そんなあたりまえを、
みんなで考え話し合う場をつくりたいと活動しています。

あいあうnet



開催にあたって

【桑名別院報恩講にてパネル展開催】

このたび、三重教区社会教化小委員会ジェンダー問題の取り組みとして、桑名別院報恩講にて真宗大谷派解放運動推進本部女性室主催ギャラリー展「いろいろな性を生きる展」(2019.2.27~3.25京都しんらん交流館にて開催)を開催します。

このパネル展の趣旨は、親鸞聖人が願われた「御同朋・御同行」としての平等な関係を一緒に話し合える場(お講)に寄せて、まずは今現実にある社会的性差別をたくさんの方に知って頂くことと、問題共有にあります。

そして、性別の枠をはずして「私」自身を問う「独立自覚の尊厳性」(唯我独尊)に立ち、「一人ひとり」が自分自身と他者を大切にしていける具体的な動きを、私たちの生きる社会に実現していくことが願いとしてあります。

主催 三重教区教化委員会 社会教化小委員会